

かみ

議会だより

令和3年

12月定例会

第68号

ぺったんぺったん
おいしいおもちにな～れ

(小代区 いこいの里)



香美町議会の情報が閲覧できます

—CONTENTS—

- | | |
|-------------------|-------|
| ■ 新年のあいさつ | 2 |
| ■ 補正予算 | 3 |
| ■ 条例改正・人事・議案の審議 | 4～5 |
| ■ 意見書 | 6 |
| ■ 町政を問う（12人が一般質問） | 7～12 |
| ■ その他の質問・審議の結果 | 13 |
| ■ 委員会視察研修報告 | 14～15 |
| ■ この人ここにあり | 16 |

未来を見据えた 議会の取り組み



議長
西谷 尚



2022年の輝かしい希望に満ちた新春を、ご家族で健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス新規感染者数が過去最大となり、東京オリンピックも無観客の中で開催の運びとなりました。

オリンピックはやや盛り上がりには欠けた訳ではありますが、そのような中でも多くの日本人選手のメダル獲得に大きな感動と勇気を与えて頂きました。その後、新規感染者数も大きく減少し、アフターコロナの中で地域経済活動を従来の姿へと回復させる取り組みを始めた矢先に、新たなオミクロン株が騒がれるようになりました。

私達は、慌てることなく冷静に推移を見据えながら、コロナの第6波の到来に備え、少しでも従来の生活に戻していきましよう。

議会の役割として、町民の目線で町政をチェックし、町民の声を町政に反映させることが重要と考えております。

昨年末の定例議会においては、時間がない中、町当局及び議会が一つとなり、年内の子育て世帯への臨時特別給付金10万円現金給付を決定いたしました。

議会と言うのは是非々々で取り組む事が重要であると感じたわけであります。また、コロナにより私達の生活の中で、デジタル化の取り組みが大変重要であると感じたのも事実です。

行政ではDX化の取り組みを進めています。その取り組みは1カ所だけ完成すれば良いというものではありません。全てが繋がってこそ、最大の効果が得られるというものです。

当然、アナログな議会においても時代に遅れる

ことなくしっかり取り組み、挑戦していかなければなりません。

まさに令和4年は、何事にも挑戦していく力強い年であると感じています。

昨年の選挙で若い議員が2名増えました。

若い議員には、議会におけるデジタル化を含め、新たな取り組みに期待をしております。

今年も議員一丸となつて、町民の皆さまの生活の安定と、福祉の向上のために全力で取り組んでまいります。

新しい年が町民の皆さまにとつて、力強く希望あふれる素晴らしい年となりますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

議長

西谷 尚

副議長

見塚 修

議員

田 野 公 大

上 田 勝 幸

谷 口 眞 治

藤 井 昌 彦

吉 川 康 治

東 垣 典 雄

西 谷 高 弘

小 谷 康 仁

南 垣 誠

松 岡 大 悟

西 川 誠 一

岸 本 正 人

徳 田 喜代子

森 浦 繁

(議席順)

町民生活への支援強化!!

★ 子育て世帯への給付金 現金一括一人 10 万円

★ 住民税非課税世帯への臨時特別給付金 一世帯 10 万円

12月定例会で令和3年度一般会計・国民健康保険・介護保険・国民宿舎事業・水道事業企業会計・水道事業企業会計の補正予算が提案され、いずれも原案通り可決しました。

補正

■子育て世帯への給付金について

問 専決処分したものに
ついて、同一関連議案が
間に合っているにも関わ
らず専決処分したことにつ
いて、過程の説明を求め
る。

答 受取拒否の期間を設
けなくてはいけなかった
事、文書作成、事務処理
の時間でも必要であったた
め、どうしても11月19日
に事務を開始する必要が
あり専決処分をしました。

問 専決処分は議会の権
限に代わって町長が議会
で議決したのと同じ法律
効果がある。議会として
慎重な運用を求める。
答 当然、安易に専決処
分をすべきではないと考
えますが、地方自治法に
も認められているので、

この判断の中で行いま
した。

問 所得制限の考え方に
ついて、所得制限を無く
する考えはないか

答 特例給付の対象の世
帯は所得制限対象で支給
されません。国の考え方
に沿って所得制限を実施
致します。



クリスマス・イヴの支給に向けて

■一般会計補正予算

問 移住定住対策費96
8万9千円の増額補正が
ありますが、予算より多
くなった詳細は。

答 住宅改修が例年より
も件数が多いこと。空き
家の家財の処分額が上限
いっぱいの利用が多いこ
と。空き家見学の応募が
近畿圏外からの見学が多
いことなどから予算が不
足しています。

問 生活介護給付費、共
同生活援助給付費が大き
く増えた理由は？

答 生活介護を受ける方
が45名、新たにグループ
ホームに入られる方が9
名、それぞれ増えたため
です。

問 英語力スキルアップ
事業が実施できなかった
が、当初目的のフォロー
アップは？しなくてもい

いなら来年度以降事業化
する必要はないが。

答 今年度はコロナの影
響により実施できません
でした。原因としてA L
Tの確保をすることがで
きなかった為です。中学
校については企業との業
務委託を考えていたが見
通しが立ちませんでした。
来年度は実施していきた
いと思います。

■国民宿舎事業

問 多かれ少なかれ観光
業者の皆さんは経営が大
変との認識があるが、必
要があれば公社だけでは
なく、ほかの民宿業者の
皆さんにも支援をする必
要がないか？

答 様々な給付金、休業
要請支援金なども含めて
観光産業への対応につい
ては見守り、支援策が必
要とあれば検討します。

令和3年度分の税務申
告の状況を見ながら支援
策も含めて新たな対応を
していきます。



夕風ヶ丘

12月定例会において条例を定めること1件、一部改正6件の計7件が提案され、1件否決、6件を可決しました。

条例

香美町交通安全 対策基金条例

質疑

問 基金の活用方法は
答 まだ決まっています
んが今後検討して、主として、交通安全対策に使いたいと思います。

討論

反対討論 見塚 修議員

1. 基金の原資としようとする資金の出所は町民自身の交通共済の為の掛け金であり、本来は無事戻し金として町民が受け取ることも考えられる資金でもある。
2. その資金を町が受け取り、交通安全対策の事業に活用することは、町

民から理解を得られるとも考えられる。

①その金額からして、基金を設置することになじまないこと。

②今現在、本町の交通安全施設の現状は十分な維持管理がなされているとは、ほど遠く、早急な整備事業を町民は求めていること。

③基金の活用を今後とも経常的に必要なソフト経費も考えていること、このことは長期になる可能性があり町民課長との説明に矛盾すること。以上反対する。

賛成多数で可決

香美町一般職の職員の 給与に関する条例

質疑

問 新たな職制をつくることは、対外的によくわからないのでは

答 課・係によって複数の主幹を配置しており、係の責任が対外的にわかりにくく、その解消を図るために「主幹」を「主幹係長」と「係長」に2分割しそれぞれの役割と職責を明確にするためです。

討論

反対討論 小谷 康仁議員

「主幹係長」は「係長」の上位職で職責が重いにもかかわらず、給与が同じであることには疑問を感じる。分割の基準や方法が不明瞭である。以上反対です。

賛成少数で否決

令和4年6月請求分から水道料金改定!!

激しい議論の末、全体改定率 11%増を賛成多数で可決

香美町水道事業 給水条例

質疑

問 ①値上げを検討する前に企業内でのコスト軽減の議論はされたのか
②パブリックコメントは、されたのか

答 ①コストの削減対策として機器の更新等には、できるだけ安価なものを使い必要のないものは、削減。水道メーターなど但馬でひとまとめにして購入し、コスト削減をしています。
②パブリックコメントはしていません。

討論

反対討論 南垣 誠議員

コロナ禍の影響で家庭の所得に大きく影響を受けた世帯もあり本町が災害等に対応する「財政調整基金」を活用し町民の負担軽減を図る必要がある。

賛成討論 上田 勝幸議員

水は住民の生活に1日も欠かせない命の源です。令和4年度、利用資金が枯渇するため、料金改定は避けて通れないものです。

反対討論 谷口 眞治議員

人口減少が値上げの理由では、今さら水道施設を小さくできませんし将来無制限に値上げを続けることになります。令和4年度の水道料金値上げ分(3200万円)を据え置きにする財源は十分あることです。財政調整基金35億円の1%を充てればおつりがきます。

賛成討論 吉川 康治議員

水の重要性は、食より重要です。将来にわたってライフラインである水を守り続けること、そして未来の町民に対して負担を少なくすることになります。

■香美町消防団員の定員
任命・給与・服務等に
関する条例及び香美町
消防団小代支団特設第
一分団消防拠点施設条
例

質疑

問 香美町村岡区で機能
別団員がいませんが配置
すべきでは

答 地元消防団で協議さ
れ今のところ、現役消防
団員で行います。

全員賛成で可決

■香美町国民健康保険税
条例

全員賛成で可決

■香美町特定教育・保育
施設及び特定地域型保
育事業の運営に関する
基準を定める条例

全員賛成で可決

次の3議案は全員賛成で同意・可決しました

人権擁護委員



任期満了に伴い引
き続き法務大臣に推
薦することに同意し
ました。

任期は令和4年4
月1日から4年間で
す。

小代区広井
井上光男さん

辺地総合整備計画 (奥佐津辺地) の変更

本年9月議会で決定し
た計画を変更するもので
す。

●施設名

飲用水供給施設
(旧畑簡易水道整備事業)

●変更の理由と内容

- 1) 半導体の供給不足
により、機器の製
作に日数を要する
ため、令和3年度1
年間を令和4年度
までの2年間に
- 2) 入札減等により
事業費を精査し
66,000千円を
51,700千円に

財産の取得

●目的 森林基幹道
三川線開設・改良工事
に伴う土地の取得

●所在地

村岡区境字後山297
番2

●地積

68,943 平方メートル

●地目 保安林

●取得の方法

随意契約

●取得金額

7,583,730 円

●契約の相手方

香住区若松632番地
植田殖産合資会社
代表社員 植田栄助

12月定例会では、次の議案も審議し、
いずれも全員賛成で可決しました。

- 香美町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 令和3年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 令和3年度香美町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度香美町国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度香美町水道事業企業会計補正予算（第4号）
- 令和3年度香美町下水道事業企業会計補正予算（第2号）

国に意見書を提出

～町民のための予算確保に向けて～

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

意見書のポイント

- ☞ コロナ禍における財政出動のしわ寄せを、地方財政に押し付けないように
- ☞ 地方税の軽減を求める際は、軽減を行った自治体に対して、国の責任で補助を

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設または拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

一般質問

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月14日と15日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



地域の願い、みんなの願い



ラジコン草刈機による草刈り作業

本町にとって安心・安全な道路は、最も重要なインフラである。



見塚 修 議員

懸案の道路整備をいつ、どう進める!!
大乗寺BPは早期実現大会を3月に開催します!!



合併前から懸案である次の道路整備をいつ、どう進めるのか。

- 一、(主) 香住村岡線大乗寺バイパスⅡ期工事
- 二、町道小原Ⅰ号線拡幅改良工事
- 三、町道和佐父線と(主)香住村岡線との交差点改良工事

町長

又、9月議会で質問した、通学路の安全性確保に向けての進捗状況は。

二、香住側の隅切り工事を早急に行います。待避所の設置は、現地確認し検討します。

三、関係区と協議します。また、中野地内の歩道整備は、早期着手に向けて県に要望します。

教育長

長井小付近の歩道整備の早期着手は困難で、う回路は未定です。



東垣 典雄 議員

グループ営農から法人化の促進を
法人化移行への取組を支援します



農業用機械購入に対する補助制度の採択基準は認定農業者、法人格を持った集落営農組織、農業法人となっている。

現状は認定農業者も高齢化し、また組織の法人化もあり進んでいない。

町長 地域の中で今後その地域の農業をどう守っていくか、自発的な取り組みが必要です。

小規模でも農業に熱心に取り組んでいる兼業農家のグループ営農をすすめ、そのグループの法人化をはかり補助制度の採択基準を満たすことにより、スマート農業にグループで取り組みラジコン草刈機の導入促進はどうか。

この取り組みに様々な側面的支援をするのが行政の役目であります。その地域の農業を守っていくのはどういう形が最もふさわしいか考えていただきたい。

支援体制も整えて兼業農家の集まり、小規模農家の集まりでも集落営農組織とか法人化に移行していただけるよう取り組みを支援します。

SBP=ソーシャルビジネスプロジェクト

地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組み。地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていくというもの。



S B Pとは

町で全てをやっていると思うと、経費も人もかかる。民間の発想に対して支援をし、新しく



吉川 康治 議員

地域課題を解決する仕組みづくりにサポートを町も積極的に関与していきたい



きた大学や、SBPが授業に組み込まれる予定の高校と連携することで地域課題を解決する仕組みを作れば、新たな魅力にもなる。
学生がそこに一緒に携わることになれば、専門職大学の多くの方は県外の方ですので、そういった方々が、本町を含め但

馬に残ってくれるチャンスとなる。この仕組みづくりに力を注いでいただきたい。
町長 学生を起点に、私どもの町の施設を活用し、地域住民を巻き込んでほしいという思いで大学に職員派遣しています。産官学民連携の中で、専

門職大学、あるいは地域に根差す2つの高校、そういうものを絡めて今後の香美町が持つ地域課題について、若い世代の人の考え方や学校の取組で町なりが少しでも変わり、人口減少の抑制に少しでも役立つような取組には、町も積極的に関与していきたいと思っています。



未来の香美町を無人運転車が走るかも

観光客やJR乗り継ぎのための幹線路線・生活のための乗合タクシー・通学のスクールバスはそ



南垣 誠 議員

公共交通のさらなる利便の向上を求める推移を見守りながら対応を協議します



れぞれ別の運行形態として考えるべきではないか。特に、高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題ではないか。
町長 これから免許返納者や高齢者が増えてきて、公共交通の必要になる方が増えてくるという認識はございます。今

後のタクシー事業者への支援のことについても検討すべき時期に来ていると思いますし、公共交通の在り方についてはこれが1つの答えということではございませんので、試行錯誤しながら協議します。



冬のたじま高原植物園



急げ!! 国道482号二期工事

国道482号大谷バイパス二期は 県への要望活動をしています



藤井 昌彦 議員

国道482号は、小代区のご真ん中を走る通学、通勤、物流、交流、経済緊急の重要要素が詰まっ

た非常に大切な基幹道路「背骨」である。

令和元年、鳥取県若桜町まで開通、本年春には城山く水間く小代地域局方面の第一期工事が完了し、便利になったと喜び住民の声を聴く。

野間谷、實山を経て忠宮へ戻る第二期工事区間は、小中学校、こども園、

通学、通勤車で賑わうにもかかわらず、野間谷区入口の取り合いが急峻、小中学校近辺の幅員が狭小であり、リスクが高く整備が待たれるが。

町長 国道482号

第二期工事は、県の社会基盤整備プログラムには、令和元年から5年までに、

新規事業化に向けた準備を進めています。

兵庫県国道482号整備促進期成同盟会を通じ、

新温泉土木事務所へ要望しており、本年8月23日には、小代自治会から早期着手に向け要望されています。

今後、新規事業の動きを注視しつつ、地域との連携の強化を図り、早期事業化に向け引き続き県へ強く要望していきます。

むらおか振興公社を分割運営しては 会社を分ける必要はないと思います



小谷 康仁 議員

①精肉店の従業員が売り上げを横領した事件は記憶に新しい不祥事で、新社長となり業務の改善をどの様にされたのか?

②昨年12月に更なる横領が発覚したと聞けが、そ

の詳細はどうなのか?
③たじま高原植物園に指定管理料を計上し、その上職員を派遣して積極的な維持をされているがどのような考えなのか?
④二つの施設の業務内容が複雑となれば、それぞれの施設を独立運営するのが良いのでは?

町長 ①チェック体制を社長及び支配人等複数人で確認し、仕入れた

精肉の追跡を個体識別番号毎に変更しました。
②捜査追及で新たに50万円以上の横領を認め、7月末に返済しました。
③村岡が誇る文化拠点の施設維持の整備やお客様に失礼のない支援をしています。職員もその様な業務に当たっています。
④職員の配置や予算で一定の手当をしたつもりです。会社を分ける必要はないと思っています。



コロナ禍、諸物価高騰での水道料値上げは、許されません！

(1) 廉価・安全な水を安定供給するのが水道法の原則ではないか。
(2) 水道料金値上げの理由



谷口 眞治 議員

**町民の命の水は値上げすべきではない！
必要なときにはコロナ支援策を講じます**



は成り立たないのではないか。①人口減少で水道使用量が減っても施設は小さくできない。②補助金活用のための値上げは本末転倒。③メーター維持管理費の加算は減価償却費との二重取り。④長期化するコロナ禍での値上げは、町民負担の追い打ちになる。

(3) 一般会計基準外繰出金を増やせば値上げはしなくても済むではないか。

町長

(1) 清浄・廉価は水道法の原則です。

なげます。③維持管理費は必要経費であり、資金収支方式では減価償却費は考慮していません。④改定を遅らせるほど改定率が増高します。コロナ禍の影響が必要と判断すれば支援策を講じます。(3) 資金不足額の半額を一般会計繰入金で改定率を抑制しますが、これ以上の繰入は考えていません。



鎧麒麟獅子舞



松岡 大悟 議員

**無形民俗文化財の保存・活用を！
文化財保存活用地域計画に沿って進めます**



令和2年12月に認定された「香美町文化財保存活用地域計画」町内には数多くの無形民俗文化財が各地域で残されています。長きにわたり継承されてきた伝統芸能だが、少子高齢化の波は避けら

れず、組織の高齢化・人材不足によって歴史を紡いでいけない状態も既に起こっています。そこで、無形民俗文化財保存の課題、活用の具体策を教育長に伺う。

教育長

保存に関する具体的支援策として未指定の文化財把握・出前講座等での文化財の周知、歴史文化の記録、衣装など整備事業に対する補助金の交付、課題共有のた

めに保存団体ネットワーク化等に取り組みます。活用に関する具体的支援策としては、イベント等出演依頼があった際の保存団体との連絡調整、ふるさと教育で実施しているふるさと語り部講座の活用、出前講座などの歴史文化講座の開催や講師の派遣、上演される日程を周知するポスター作成・掲示等、引き続き啓発を行っていきます。



児童の減少が心配される小学校



農地を守ろう

農業者の担い手対策について 関係機関と連携して支援します



森浦 繁 議員

農業の担い手対策について伺います。今後の農地放棄地の増加、米価の下落、担い手不足など、

ますます大変になっていきます。米地営農組合が今年度で解散とのことですが、新たな担い手は決まっていますか。

町長 コロナ禍の影響により外食産業の事業低下により米価は2年連続で値下がりし、農業所得の減少や、農業者の高

齢化や後継者不足による遊休農地の増加も懸念されています。佐津谷の農地保全については、これまでから幾度となく関係の皆様にお集まりを頂き、議論を重ねてまいりましたが、突然、令和3年の収穫作業の完了をもって米地集落営農組合が解散されることが報告されま



した。町内でも優良農地である地域農地の遊休化を回避するため、改めてJA・県関係機関・佐津谷地区の区長・農会等に集まっていたいただき、今後の在り方について話し合いを行い、この結果、大半の農地は地域の認定農業者、大規模農家により耕作が継承されますが、一部農地の継承が決まっています。

学校統廃合問題はどのようにするのか 令和4年の夏には計画を示します



岸本 正人 議員

第二期教育振興基本計画(案)、(令和4年～8年)では、「今後を見据えた修学前施設、小・中学校の適正配置の在り方を検討し、学校再編を推進する必要があります」

との記載がある。私はもっと前向きな案が出ると思っていた。がっかりである。再編の検討が進んでいなければ納得できない。何度も言うが、もはや危機的な状況に陥っているのが現実だと思う。再編の方向性・計画案はいつできるのか。

教育長 令和4年1月の中に、総合教育会議にはかつて、学校再編を推進

することを決定する予定です。現在の学校再編の進め方(3分の2以上の希望で進める)を改め、今後は教育委員会が再編計画を示して、保護者と地域の皆さんの理解を得ながら進める方向に見直すことを考えています。学校再編に絞った懇談会の開催を考えています。令和4年度の夏までには、計画が示せることになるかと今現在考えております。





高齢化に対応した行政サービスを

最近高齢者から選挙の投票やコロナ関連の給付、



田野 公大 議員

実情に合った行政サービス体制を 公平且つ効果的な提供の在り方を考えます

行政手続き等で出かける交通手段がないなどの声を聞く。これらの声にこたえるため、給付体制の検討や出張受付、送迎体制、代行、村単位のオンライン化など、挙げればきりがなが、このよう

なことを真剣に検討する町長 高齢化が進展している本町では、高齢者対応を常に念頭に置いて施策を展開しています。一口に行政サービスと言っても多岐にわたり、高

時期に来ていると考えるが、町長の考えを問う。



齢者が移動する必要があるか、代理で済ますことができるか、在宅でできる事か、電話でも可能か、集落単位で取り組むべきことかなど整理が必要で



購入しやすい補聴器に



西谷 高弘 議員

補聴器の購入助成を 国の動向を見守った上で検討します



加齢性難聴は10年かけて少しずつ進行するため聞き取りが悪くなっている自覚がない場合があると言われている。高齢者の方には、いつまでも元気で社会に地域に活躍していただきたい。難聴の

程度は、軽難聴、中等度難聴、高度難聴、重度難聴の4つのレベルに分類され、日常生活困難が中等度難聴となる。中等度難聴がある高齢者を対象とした補聴器の購入費用の助成をする必要があると思うが。

町長 加齢性難聴は、言葉が聞こえなくなると認知機能の低下によってコミュニケーションに支障が生じ認知症などのリ

スクが高まると言われています。現在、補聴器購入支援は身体障害者手帳に聴覚障害の記載者を対象として障害者総合支援法に基づき支給を行っています。県議会では平成30年に、「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める」意見書が採択され、国においても研究が進められていると聞いているので、国の動向を見守って検討します。

一般質問

その他こんな質問もしました



Youtube
兵庫県香美町議会
チャンネル

質問議員	質問項目
東垣 典雄	○有害鳥獣対策を問う ○蘇武トンネル線の実証運行について問う
見塚 修	コロナ禍を克服し、活力あるまちづくりを求めて (Part3) ○安心・安全・防災・国土強靱化編 雪害対策について問う (除雪、停電・断水対策)
南垣 誠	○まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について問う (Part2) ○小中学校での授業料以外の費用負担について問う (Part3)
吉川 康治	○こどもたちの過ごす学校環境について問う
小谷 康仁	○複式学級について問う
谷口 眞治	○長期化するコロナ禍対策について、町長の所見を問う
森浦 繁	○コロナ禍における事業者と暮らしへの支援について問う ○子育て支援対策について問う
岸本 正人	○自家用有償旅客運送制度の活用について
西谷 高弘	○通学路等における交通安全の確保について問う

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	議員名	田野 公大	上田 勝幸	谷口 眞治	藤井 昌彦	吉川 康治	東垣 典雄	西谷 高弘	小谷 康仁	南垣 誠	松岡 大悟	見塚 修	西川 誠一	岸本 正人	徳田喜代子	森浦 繁	西谷 尚
149	専決処分をしたものにつき承認を求めることについて (令和3年度香美町一般会計補正予算 第7号)				×											欠	×	—
152	香美町交通安全対策基金条例を定めることについて				×			×		×	×		×			欠	×	—
153	香美町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて				×	×	×		×	×	×		×	×		欠	×	—
157	香美町水道事業給水条例の一部を改正する条例を定めることについて				×					×	×		×			欠	×	—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長及び議長代理は採決に加わりませんので、「—」で表示しています。

委員会視察 研修報告

次代を担う若者たちを 芸術文化観光専門職大学と共に育てよう

総務民生常任委員会 委員長 西谷 高弘



視察研修のようす

総務民生常任委員会はコロナ禍により、制限を受ける中でしたが、先方のご協力を頂き11月2日、令和3年4月に開学した「芸術文化観光専門職大学」への視察研修を行いました。

芸術文化観光専門職大学

大学は平田オリザ氏を学長とし「芸術文化と観光、理論と実践を架橋し、新たな価値を創造する」をコンセプトに積極的に地域

と関わり、地域を元気にできる即戦力人材を育てています。施設はコモンズスペース等を十分にとった構造で、演劇場やスタジオ、レッスン場、情報演習室、工作室、パフォーマンスのできるオープン図書館（学術情報館）のほか、クリエイティブな施設やトレーニングルームなども完備しており、一部施設は一般市民も利用できます。

教員・講師陣はほとんどが民間出身で、実践スキルを持たれた方々で固めており、学生は全国から募集しています。

100施設以上の実習施設が 学びの舞台に

授業の三分の一（800時間）を実習にあて、地域や社会を舞台に現場の実践力を育成、民間の劇場や旅行会社や宿泊施設に加え、但馬内の地方自治体も学びの場と

なります。

地域の課題に挑む「地域リサーチ &イノベーションセンター」

大学が持つ「芸術文化」「観光」「経営」という研究シーズを活かし、地域課題の解決に取り組む学術交流拠点で「地域を元気にしたい」という志ある学生を即戦力人材に育てる場としています。

まとめ

最近STEM（ステム）教育という言葉があるが、これは科学・技術・工学・数学の教育分野を総称した言葉で、最近ではこれにA（芸術・教養）を追加したSTEAM（ステイム）教育の必要性が叫ばれています。これは総合的な理解とスキルを持つことによって創造的な発想が生まれやすくなることから来るものです。大学は演劇や観光を通して総合力を持つ

た即戦力人材を育てることにあり、香美町議会としても大学と共に積極的に学びの場を提供し、次代の地域のプレーヤーを育てなければならぬと感じました。

見やすい広報を 目指します

広報公聴常任委員会
委員長 吉川 康治



議会広報研究会のようす

令和3年5月より今の体制で広報公聴常任委員会がスタートし、約8か月

『水道水で海の魚を育てる』岡山理科大学の取り組み!!

産業建設文教常任委員会 委員長 藤井 昌彦

産業建設文教常任委員会では、本町の基幹産業である農林水産業、特に漁業、水産業は、地球温暖化による海水魚の北上、操業船の減少、後継者不足等多くの課題を抱えています。

そこで真水「好適環境水」で海の魚を養殖している岡山理科大学山本准教授の研究に着目し、視察研修先を選びました。

それまで半信半疑でしたが、実際に視察先で海の魚と淡水魚が一緒に泳いでいる水槽を見て、驚愕しました。

研究内容

「好適環境水」とは、魚に必要な3要素、ナトリウム、カリウム、カルシウムに絞り込んだ人工飼育水です。

- ① この水を使った養殖メリットは、徹底管理された養殖設備で安心安全
- ② 水道さえあればどこでも養殖
- ③ 浸透圧調整の負担軽減によ

研究成果

- ④ り、成長が早い
淡水、海水でなく菌が少なく病気になるにくい
- ⑤ ろ過技術の改善で飼育水の節減（水リサイクル）

クロマグロ、ニホンウナギ、ハナメイエビ、ベニザケ、トラフグ、クエ、ブラックタイガー、ヒラメ、アジなど10種類の養殖に成功し、モンゴル、タイ、カンボジアへの海外進出し、魚の排泄物で植物を育てる（アクアポニックス）を進め10種類以上の野菜を育てており、将来的には、農漁業者、宇宙船での養殖へと夢を膨らませています。

視察研修を終えて

やはり、課題としては、水温管理に相当電気代がかかります。山本准教授の話では、温泉地や坑道とかは有利だと聞きました。設備費、管理費等を考えると課題は多いが、成長が早く約1年以

内で出荷、セット量産が可能で高級魚を養殖すれば十分採算は合うとのことでした。
町の将来的可能性が伺える研修でした。



視察研修のようす

が経ちました。非常に雰囲気の良い委員会であり、記事の割り当てなども非常にスムーズに進みます。

さて、具体的に私たちが何をしてきたかと申しますと、主に『議会だより』の草案のまとめであります。一般質問の記事に関しては、各議員が自己の責任の下、作成頂いておりますが、語尾の修正や、条例などの議案記事は当委員会メンバーで作成を行っています。

また、編集技術の向上を目的とし、11月4日にはメリケンパークで兵庫県町村議会の広報研修を受けてまいりました。知ることは非常に重要ですし、それを活かすのはわれわれ委員の務めであります。

今後の研究課題としては、「見やすさ」「親しみやすさ」をどの様に改善表現し、町民の皆様に近い議会広報としていくか、そして公聴としての機能のあり方です。しっかりと広報公聴の本来の目的が何なのかを捉えて今後も活動してまいります。

いのちの里 「small is wonderful」

一般社団法人



◆設立経緯

「吉滝キャンプ場コテージ村」を管理運営するため、2021年4月1日に法人を設立。

◆一般社団法人 small is wonderful

田舎は人、モノ、様々なサービスなどが都会と比べると規模が小さいですが、小さいが故に磨き方や魅せ方で素晴らしさを見出せると信じて活動しています。



◆メンバー構成

代表理事 西村 太一 1991.3.27 生 (30)
趣味：ゴルフ、YouTube 投稿
理事 長瀬 優也 1991.10.1 生 (30)
趣味：食べる事



◆small is wonderful の活動

現在は小代区にある吉滝キャンプ場コテージ村の管理運営をしています。標高600mの山の上にあるキャンプ場には、テントサイトとコテージがあり、夏は満天の星空を見ながらコテージBBQ、秋は雲海や朝焼けなどレベル違いな大自然を体感していただけます。業務内容としては、敷地内の木の伐採や草刈り、コテージの清掃、チェックインチェックアウト対応、SNSでの広報宣伝活動などを行っています。今後はキャンプ場の運営以外にも、地元民にとって生活がより良くなるようなサービスを提供できるよう模索したり、地元の若者がUターンしやすい環境を整える活動にも力を入れていきたいと考えています。



◆香美町議会に一言お願いします

都会からのUターンも大切ですが、地元の若者が胸を張ってUターン出来る環境を整える事(ハード面もソフト面も)も大事だと思いますので、引き続きUターン施策の拡充をお願いします。また若者が起業しやすい町づくりをお願いします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。今年も「寅」です。「寅」という漢字は「演」からきていたともされ、「演じる」ということでしょう。「演」の語源である「延(えん)」は表すとされています。延ばすという事から「寅年は成長していく年。我々、広報公聴常任委員会も一歩一歩前に進んで行く年であるよう頑張りたいと思います。」

コロナが一日も早く終息し町民の皆様にとって幸せな一年となりますようにご祈念致します。

(N)

広報公聴常任委員会

委員長 吉川 康治
副委員長 南垣 誠
委員 田野 公大
西谷 高弘
松岡 大悟
見塚 修
森浦 繁

